

日本農芸化学会東北支部シンポジウム 農工連携が次世代の農芸化学にもたらすもの

2022年 12月3日 土 13:00~18:00 対面およびweb配信

東北大学青葉山新キャンパス・青葉山コモンズ大講義室
仙台市地下鉄東西線青葉山駅から徒歩5分

参加登録が必要となります(11月29日〆切)

<https://forms.gle/NsiBxkvpaArimfMy9>

右のQRコード、あるいは下記の間合せメールでの申込も可能です



第一部 東北支部奨励賞及び若手奨励賞受賞講演

13:00-13:10 支部長挨拶

橋本 勝 (弘前大学/農芸化学会東北支部支部長)

13:10-13:50 奨励賞受賞講演

工藤 雄大 (東北大学学際科学フロンティア研究所、
東北大学大学院農学研究科)

上杉 祥太 (岩手生物工学研究センター)

13:50-14:20 若手奨励賞受賞講演

目黒 康洋 (東北大学大学院農学研究科)

Isabella Supardi PARIDA (東北大学大学院農学研究科)

第二部 シンポジウム講演会

14:30-14:40 はじめに

原田 昌彦 (東北大学/農芸化学会東北支部副支部長)

14:40-15:05 水田農業の構造変化と技術革新

大谷 隆二 (東北大学大学院農学研究科)

15:05-15:30 超臨界流体・水熱・亜臨界水を用いた天然物処理による
農工連携への取り組み

渡邊 賢 (東北大学大学院工学研究科附属超臨界溶媒工学研究
センター)

15:30-15:55 農工連携における次世代放射光施設・ナノテラス利用の展望

日高 将文 (東北大学大学院農学研究科)

15:55-16:20 乳製品のナノ構造解析

大沼 正人 (北海道大学工学研究院)

16:20-16:45 自家蛍光イメージングによる食品成分分布の簡易可視化

粉川 美踏 (筑波大学生命環境系)

16:45-17:00 パネルディスカッション&総合討論

17:00-18:00 意見交換会 (参加費1000円)



主催：日本農芸化学会東北支部

問合せ：原田昌彦 masahiko.harata.b6@tohoku.ac.jp